

## 趣旨

こども・子育てDXにより、旧来の制度を大きく変革させ、安心・便利・充実の三拍子揃ったこども・子育て政策を日本全国津々浦々に行き届かせることを目的とし、現在のこども家庭庁の取組を前提に、①さらに加速すべき政策、②確実に推進・着手すべき政策を挙げたうえで、それらをより確実に実施するため、③DXを推進する体制の強化について提言するものである。

## 主な内容

### ①現在の取組をさらに加速すべき事項

- ・ PMHを活用し母子保健情報の連携を推進。電子母子手帳の原則化や里帰り妊産婦情報の自治体間連携を実現
- ・ 全ての保育所等へのICT導入を実現
- ・ 保活情報連携基盤の構築、民間との連携により保活ワンストップシステムを実現。併せて就労証明書を電子化
- ・ 全国共通データベースの整備とBPRにより保育の給付・監査を抜本的に効率化
- ・ 出生届のオンライン届出を実現
- ・ 児童相談所やこども家庭センターのICT導入や業務支援アプリの活用を推進

### ②今後、確実に推進・新たに着手すべき政策

- ・ 施設レジストリの整備（保育園、幼稚園、放課後児童クラブ、学校等）
- ・ 子育て支援制度レジストリの整備。オープンデータ化し、子育てアプリとの連携でプッシュ型子育て支援を実現
- ・ 放課後児童クラブDXの推進
- ・ こどもデータ連携実証事業の取組により、虐待やいじめの早期発見・未然防止を図る
- ・ テクノロジーの活用による保育施設における安全対策の強化

### ③DXを推進する体制の強化に向け、こども家庭庁の職員増員